

資料【C】 取組イメージ図、これまでの取組に対する課題と今後の方向性

【戦略のコンセプト】

～「広がる、生まれる、進化する “産業交流都市・UJI”」～

【目標】

将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、多様な働く場を創出することにより、定住人口を確保し、市民の豊かな暮らしを実現する。

【取組内容】

産業支援拠点「宇治NEXT」

市関係課や関係機関と連携して
以下の取組を実施

【取組の方向性】

市内産業の進化・発展

- (1) 事業のしやすい環境づくり

- (2) 市内産業の成長支援

- (3) 人材不足への対応

交流・連携の強化

- (4) 企業間や产学交流の推進

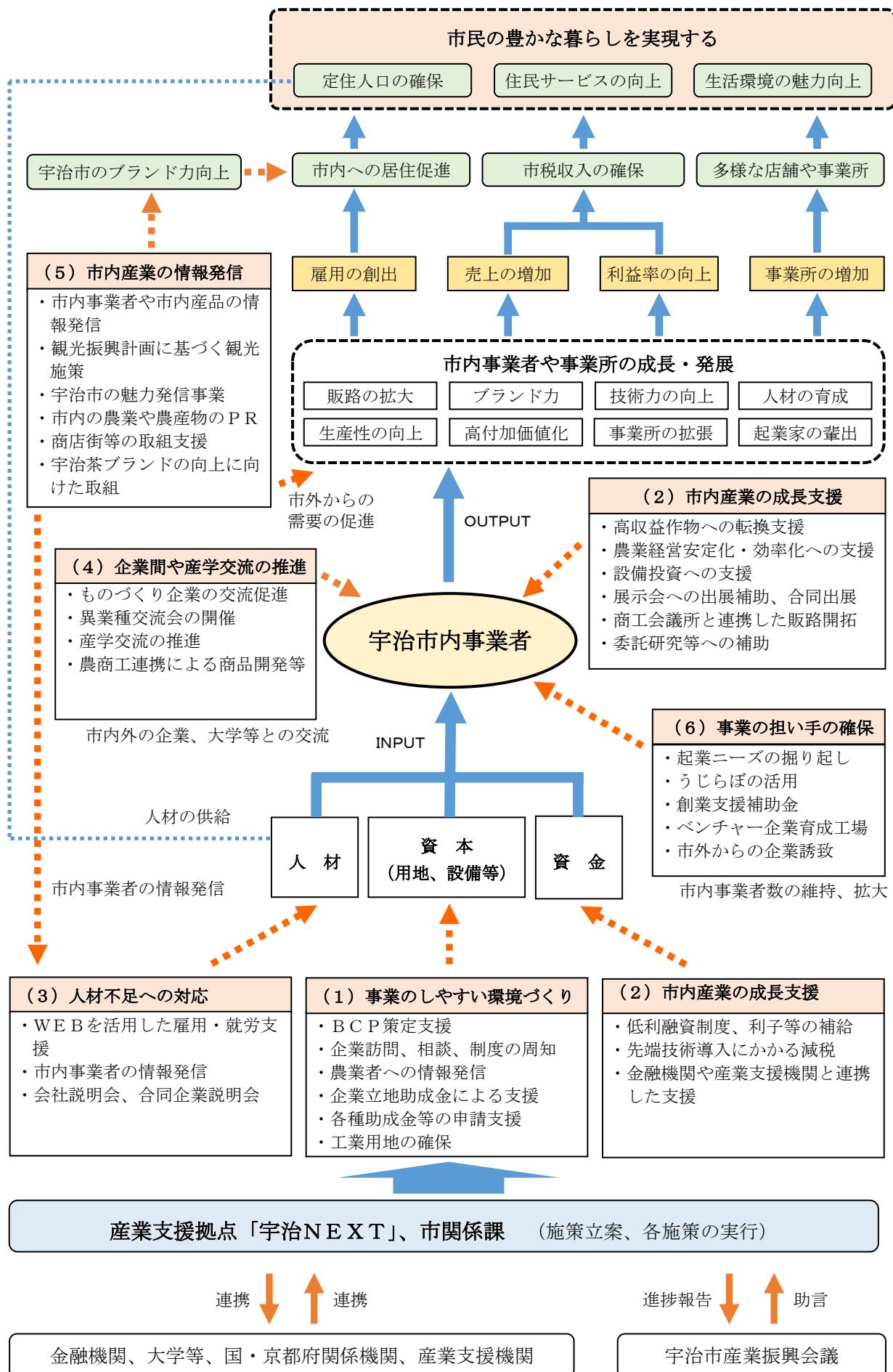
- (5) 市内産業の情報発信

新たな産業の創出

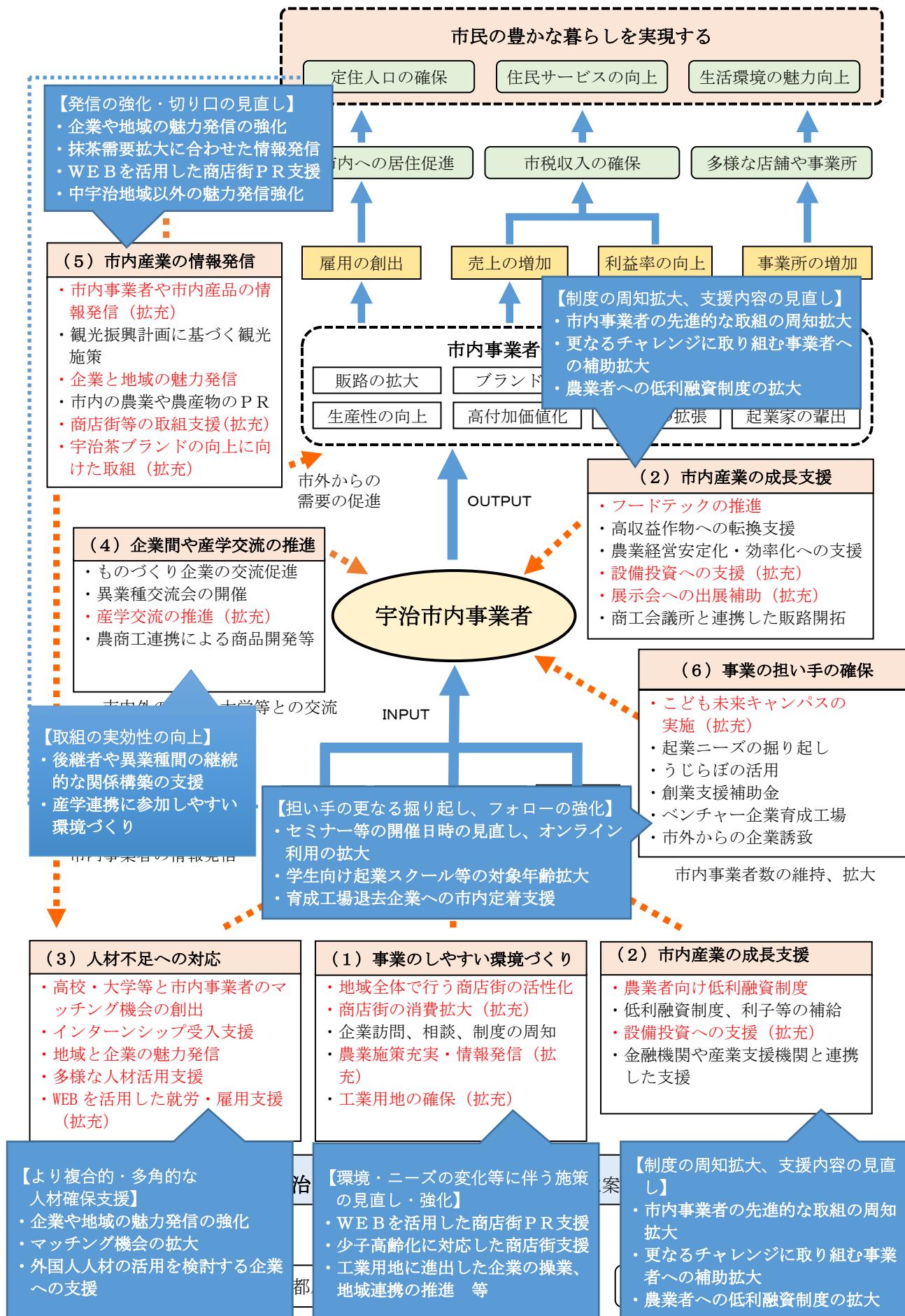
- (6) 事業の担い手の確保

【宇治市産業戦略の取組イメージ図】

令和3年度改訂版



令和7年度見直しの方向性



宇治市産業戦略 これまでの取組に対する課題と今後の方向性案

市内産業の進化・発展

取組の柱（1）事業のしやすい環境づくり

産業戦略に掲げた重点課題	これまでの取組の方向性
<ul style="list-style-type: none">既存事業者の強みの活用支援制度の認知度向上中小事業者支援のワンストップ化産業用地不足への対応 等	<ul style="list-style-type: none">産業支援拠点の開設、体制整備工業用地の確保・企業立地支援事業者の災害対応力の強化農業支援制度の情報発信 等



■ 取組についての意見

（産業振興会議での主な意見）

- 工業用地の確保や農業振興施策の予算増加など、成果が見え始めていると感じている。
- 市・府・国補助金情報も含め、今後も積極的な情報提供を期待。
- 企業訪問は重要であり、企業のニーズの把握だけでなく、シーズの発見などが蓄積され、市の資産となっていく。
- 工業用地について、市の産業成長や地域経済の循環に資する企業を積極的に誘致して欲しい。

（市内事業者等からの主なご意見）

- トランプ関税の動向等、先行きの不透明感が増している。
- 資材高騰や人件費の上昇等により、新たな設備投資へのハードルが上がっている。
- 自社の事業でどんな補助金が活用できるのか分からず。
- 事業拡張のため用地を探しているが、宇治市内に良い土地が見つからない。
- 生まれ育った地域や商店街を活性化させたい。
- 農地面積等、農業経営規模で補助対象を区分せず広く支援対象としてほしい。
- 肥料や資材が高騰しており、農業を続けるのが困難になってきている。



■ 取組の総括

世界経済の不確実性や物価高騰などが要因となり様々な課題やニーズが日々発生する中、引き続き市内事業者が抱える課題やニーズに対応し、事業のしやすい環境づくりに努めていくことが必要

- 事業者の実態をより的確に把握した上での支援
- 来訪者や売上の減少が課題となっている商店街活性化への支援の強化
- 支援制度等について、より気軽に相談できる環境づくり
- 国道24号沿道安田町地区進出企業等との連携強化

■ 取組の方向性案

【新規】

地域全体で行う商店街等の活性化

商店と住民、関係機関等が連携し、地域全体で子どもの成長を見守り、安心して子育てできる環境を整備

商店街等を身近な存在にすることで人を呼び込み、活性化を支援

【拡充】

商店街等の消費拡大に向けた取組

商店街等が実施するインターネットやSNSを活用した広報等への支援

拡充内容＝キャッシュレス化の推進から店舗等が外注していたチラシ作成等の広報活動をAIやアプリを使用し自社で内製化し消費拡大につなげる支援に転換

農業振興施策の充実と補助制度の情報発信

物価が上昇し、農業経営を圧迫する中でも、持続可能な農業を実現するための農業振興施策の充実と各種制度に関する説明会の実施

拡充内容＝物価高騰対策の充実

工業用地の確保

国道24号沿道地区の企業立地及び進出企業の操業、地域連携等を推進

産業立地検討エリアのうち、市道宇治楨島線沿道地区・市道宇治白川線沿道地区への産業立地の調査検討

拡充内容＝進出企業との地域連携を追加

【継続】

産業支援拠点「宇治NEXT」の運営

市と商工会議所が協同して産業支援拠点「宇治NEXT」を運営

スタッフが市内事業者や商店街へ出向き、課題やニーズの聞き取りを実施

経営上の課題に関する相談窓口として、庁内関係課との調整や補助金等の各種制度の案内や利用支援、企業間連携や交流の場づくり等、関係機関と連携して市内事業者を幅広く支援

専門機関と連携した支援

専門機関と連携し、市内事業者を対象とした様々なテーマでのセミナーや講習会を開催し、また、技術相談や経営相談、販路開拓や产学連携等について、企業訪問・支援を実施

各種公的助成金、補助金の申請支援

工場の新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援

農業者への情報発信

行政の支援事業や民間団体等の農業関連イベント等の情報を一元化し、しおりやSNS・メールマガジン等を通じてわかりやすく提供

BCP策定のための支援

市と連携協定を締結している企業や金融機関、宇治商工会議所と連携して、事業者のBCP策定を促すための実践的なセミナー・ワークショップを実施

企業立地助成金の活用支援

市内で工場の新設や増設、移転を行い、一定規模以上の拡張をする企業を支援するため、条例に基づき市の助成金を交付

商店街等への補助

商店街等が実施するイベントや商店街施設（防犯カメラ等）の設置、情報発信事業等、商店街が取り組む効果的な活性化につながる取り組みに対し補助金を交付

産業戦略に掲げた重点課題	これまでの取組の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上、高付加価値化 ・販路拡大 ・経営者の高齢化 ・農業者の高収益作物への転換 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資への資金的支援 ・展示会への出展支援 ・円滑な事業承継支援 ・農業機械の導入費用の軽減 等



■ 取組についての意見

(産業振興会議での主な意見)

- ・様々な補助制度や取組に感心する一方で、成果が見えにくい。
- ・職員の高齢化や人手不足により、事業継続が難しい現状がある。
- ・商工会議所や他の支援機関、金融機関などとのネットワークを更に広げることで支援の幅を拡大できるのではないか。
- ・経営改善や事業再生への支援も強化を。

(市内事業者等からの主なご意見)

- ・規模等により、国や府の支援対象とならない設備投資に対し、市の支援があるのは有難い。
- ・設備投資に活用できる補助制度を探しているが、補助金申請から設備導入まで時間がかかる等、自社の求めるニーズに合わない。
- ・海外市場に関心があるが、自社では原材料規制のチェック等が困難で、リスクの少ない手法を探している。
- ・これまで獲得した取引先以外にも、新たな販路を見つけるための支援が欲しい。
- ・(他企業の取組を紹介した結果) 日頃は、受注先等との情報交換に終始しがちであり、地域の他の企業の情報は貴重。
- ・生産した農作物の新たな販路開拓に苦労している。市のマッチング相談会はよいきっかけになった。



■ 取組の総括

利用件数が伸び悩んでいる支援制度や、ニーズに対応しきれていない支援制度もあるため、事業者が適切に制度を活用できるよう周知や申請支援を行うとともに、支援内容がニーズに沿ったものであるかを適切に判断していくことが必要

- ・展示会出展への助成制度では、支援の継続や支援内容の拡充検討が必要
- ・市内事業者が実施している先進的な取組（人材確保・定着、働き方改革、海外販路の開拓など）を、他の事業者へ展開

■ 取組の方向性案

【新規】

市内農産物を活かすフードテックの推進

京都プレミアム中食オープンイノベーションラボの活用と、産学官連携による市内農産物を活かした新商品開発の支援

農業者低利融資制度の実施

農業者が事業資金の融資を受ける際、低利での融資が可能となる仕組みにより、農業者の経営の安定を支援

【拡充】

市内事業者や市内產品の情報発信

市内製造業や伝統産業を PR するためのものづくり体験イベントやオープンファクトリー（工場や工房見学）の開催

市内事業者や市内產品等の情報、他の事業者の参考となる先進的な取り組みを情報誌やウェブサイトに掲載

拡充内容＝新たに市内事業者向けの先進事例集を作成

展示会への出展補助

市内中小企業が自社の製品等を展示会等に出展する場合の経費の一部を補助

海外販路開拓や成長分野進出など要件を満たす場合は補助を拡大

拡充内容＝海外販路開拓や成長分野進出などに対して支援強化

設備投資への支援

先端設備等の取得に要する経費と DX 推進にかかる経費の一部を補助

一定要件を満たす場合は補助を拡大

拡充内容＝生産性向上や省力化に大きく寄与する設備投資へ支援強化

担い手への農地集積を支援

地域計画に基づき、意欲ある担い手への農地の集約・集積に取り組むとともに、作業効率向上による作付コストの軽減により、持続可能な農業の実現を支援

拡充内容＝「作業効率向上」「コスト軽減」「持続可能性の確保」へ支援内容を充実

【継続】

展示会への合同出展

ベンチャー企業をはじめ小規模の製造業が自社の製品や技術等を広く PR し、販路拡大につなげるため、首都圏や海外で開催される展示商談会への合同出展を実施

市内産農産物の流通促進や商談会の実施

小規模商談会の開催とともに、生産者や商品の種類・特長等を示したシートを作成し、イベントや商談会時に活用

商工会議所と連携した販路拡大の促進

商工会議所が実施する事業者の国内外への販路開拓支援や地域の賑わいを創出する事業等に対し補助金を交付

宇治のうまいもん発信事業の実施

市内事業者の応援と街の活性化を図るため、飲食店の「美味しい」料理や製造等の熟練した「上手い」技術等を撮影し、動画で発信

低利融資制度の実施

市内事業者の経営の安定を図るため、事業資金として低利・無担保での融資を実施、あわせて保証料や利子の一部を補給

先端設備導入に係る償却資産税の減免

先端設備等導入計画を策定する企業に対して、導入予定の設備等にかかる固定資産税を最大5年間免除

資格取得に対する補助

従業員のスキルアップ（資格・免許等の取得や研修会等の受講）に要する経費等の一部を補助

高収益作物への転換支援

ハウスの設置等の高収益作物への転換を支援

農業経営の安定化・効率化への支援

経営の専門家活用や経営計画の策定、付加価値向上・販路拡大に資するICT活用等の新技術導入等、農業経営の安定化や効率化への支援

経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援

市内事業者の大きな課題となっている事業承継をテーマとしたセミナー及び交流会等の開催

これから後を継ぐ人、後を継いで間もない社長、ものづくり企業後継ぎ社長等のアトツギを繋ぐネットワーク化の推進

産業戦略に掲げた重点課題	これまでの取組の方向性
・雇用の確保 ・人材の育成	・雇用と就労ニーズのマッチング支援 ・市内事業者の情報発信の強化 (働く場としての認知の強化) 等



■ 取組についての意見

（産業振興会議での主な意見）

- 中小企業の最大の課題は人材不足
- 今後は、若年層に対する SNS やスマートフォンを活用した PR や情報発信が重要。
- 女性・高齢者・障害者・外国人などダイバーシティの観点も踏まえた人材育成・確保を。
- 観光地としての宇治の特性を活かし、観光と人材確保を組み合わせた施策など、地域ならではの工夫も重要。
- 人材確保だけでなく、機械化・自動化などの人手不足対策も検討すべき。

（市内事業者等からの主なご意見）

- 応募数の減少や採用後の定着難など、人材確保が以前よりも厳しくなっている。
- 高校や大学とのつながりが乏しく、求人を出しても応募につながらない。
- 少人数の事業所ではインターンシップ受入体制の構築が難しく、実施に踏み切れない。
- 求人サイトへの掲載を行っても応募が少なく、掲載料が負担となり継続できない。



■ 取組の総括

求職者の就職活動の手法は近年大きく変化。また、少子高齢化による生産年齢人口の減少を要因とした売り手市場の進行や、大手企業の採用早期化等により、市内事業者の人材不足は今後さらに深刻化が見込まれる中、市内事業者的人材確保を複合的かつ多角的に支援することが必要

- 高校や大学の就職支援教職員と市内事業者のマッチング機会の創出
- 事業者が実施するインターンシップへの支援、外国人人材の活用支援
- 学生や地域で働きたい人材が市内事業者の求人情報に容易にアクセスできる仕組みづくり
- 労働生産性の向上により人手不足への対応に取り組む事業者への支援
- 従業員の健康保持・増進、人材育成に向けた取組への支援

■ 取組の方向性案

【新規】

企業と地域の魅力発信

大学生や市民による企業や地域の魅力を発信する情報誌の作成
求職者に企業の魅力と地域の特色を伝え、人材確保と定住促進を図る

高校・大学等と市内事業者のマッチング機会の創出

就活生に対する市内事業者の効果的な情報発信を目的として、高校や大学等の就職担当者向けオープンファクトリーや座談会を実施するなど、市内事業者と高校・大学関係者が直接交流できる取り組みを実施

インターンシップ受入支援

中小事業者が実施しているインターンシップの事例紹介や、就活生から選ばれるインターンシップ企画・集客・運営を支援

学生ニーズを踏まえた魅力的なプログラム設計や効果的な情報発信、円滑な運営体制の構築を通じて、インターンシップ受け入れを通じた採用の促進を図る

外国人材をはじめとした多様な人材活用支援

外国人の受け入れのポイントや在留資格・制度の活用法、採用手法をテーマとしたセミナーなどの開催

【拡充】

WE Bを活用した雇用・就労支援

事業者が作成する支市内企業の求人情報を一元発信するポータルサイトの運営やSNSを活用により、学生や地域人材が市内事業者の情報に容易にアクセスできる環境を整備

拡充内容=プロモーション動画作成からポータルサイトによる求職者とのマッチング機会創出に転換

産学交流の推進

京都大学宇治キャンパス産学交流会への市内事業者の参加促進

事業者が抱える課題に対するフィールドワークを始めとした大学のリソース活用や大学生・研究室等との交流を推進

拡充内容=大学のリソース活用した事業者支援を強化

市内事業者や市内産品の情報発信【再掲】

市内製造業や伝統産業をPRするためのものづくり体験イベントやオープンファクトリー（工場や工房見学）の開催

市内事業者や市内産品等の情報、他の事業者の参考となる先進的な取り組みを情報誌やウェブサイトに掲載

拡充内容=新たに市内事業者向けの先進事例集を作成

設備投資への支援【再掲】

先端設備等の取得に要する経費とDX推進にかかる経費の一部を補助
一定要件を満たす場合は補助を拡大

拡充内容=生産性向上や省力化に大きく寄与する設備投資へ支援強化

【継続】

会社説明会の開催

市内事業者の人材確保等を目的に、ハローワーク、宇治商工会議所、京都ジョブパークと連携した会社説明会を開催

合同企業説明会の開催

市内製造業の人材確保を支援するため、合同企業説明会等を開催

産業戦略に掲げた重点課題	これまでの取組の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・他社との連携による新商品開発 ・市内企業・事業者間の取引拡大 ・経営者の高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・产学研交流や異業種交流の場づくり ・市内ものづくり企業の交流促進 ・円滑な事業承継支援 ・後継者同士の交流、ネットワーク化等



■ 取組についての意見

(産業振興会議での主な意見)

- ・異業種交流会の機会増加はあるが、具体的な実施方法や成果へのつながりが分からず。
- ・行政がスポットを当てて地道に継続する支援が重要であり、すぐに成果が出なくて長期的な評価が必要
- ・产学研交流について、一般的に製造業が大学の研究室と共同開発するようなイメージがあるかと思うが、市単体で取り組んでもなかなか成果が出にくい。一方で、幅広く大学と連携していくことも有効

(市内事業者等からの主なご意見)

- ・従業員が少ない事業所では研究開発のみに人材を投入できないため、結果が出るまで時間が掛かる大学との共同研究は体力的に現実的ではない
- ・これまでB to Bの商品を製造していたが、今後は異業種と連携してB to Cでの新しい商品の開発を考えている。
- ・先輩経営者からの教えで、近隣の事業者とのネットワークを重視している。
- ・長年宇治で操業しているが、近隣の事業者の事業内容についてよく知らない。
- ・連続講座で交流が出来た方々と、講座終了後も交流を深めていきたい



■ 取組の総括

後継者や異業種間等の交流が一過性に留まっている可能性。また、大学との連携や研究室や学生との関りを希望する事業者が多い一方、具体的な連携に進む事例は限定的であり、取組の実効性を高める見直しが必要

- ・後継者や異業種間の継続的な関係構築を促す仕組みづくり
- ・大学や研究室との交流機会等の創出による、产学研連携に向けた機運の醸成

■ 取組の方向性案

【拡充】

産学交流の推進【再掲】

京都大学宇治キャンパス産学交流会への市内事業者の参加促進

事業者が抱える課題に対するフィールドワークを始めとした大学のリソース活

用や大学生・研究室等との交流を推進

拡充内容=大学のリソース活用した事業者支援を強化

【継続】

異業種交流会の開催

市内の企業や事業者のマッチング、先進的な取組を実施している市内の企業や事業者の知識や情報の共有を図ること等を目的として、企業や事業者を対象とした交流会を、うじらぼ等を活用して実施

市内ものづくり企業の交流促進

商工会議所工業部会の交流会や VIF 入居企業による事業報告会等による企業や事業者間の交流を促進

農商工が連携した商品開発や新ビジネスの支援

農商工連携での新たな商品の開発や新たな生産手法により、農業生産額を向上させるため、生産者と加工・販売事業者等のマッチング等を実施

産業戦略に掲げた重点課題	これまでの取組の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・宇治ブランドのイメージアップ ・市内事業者や商品、商店街のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者や市内産品の情報発信 ・宇治茶の品質維持や向上の支援 ・観光施策の推進・宇治の魅力発信



■ 取組についての意見

(産業振興会議での主な意見)

- ・ 茶業振興施策への満足度に比べ、農林水産業全般や産業分野の施策への満足度が低い。市民への情報発信やアピールが不足している。
- ・ SNSなど身近な情報発信が主流になっており、今後はスマートフォンを活用したPRや情報発信がさらに重要。
- ・ 海外顧客に向けた宇治ブランドの情報発信を強化しては。

(市内事業者等からの主な意見)

- ・ 京都宇治の企業というだけで、他地域の企業からの印象が良い。引き続き宇治ブランドの向上に努めて欲しい。
- ・ (小中学生向けものづくり体験イベントに出展して) 自社の技術や製品を地域の子どもに知ってもらい、従業員のモチベーションが向上した。
- ・ 宇治市にこのような企業があることを初めて知った。
(求職者向け合同企業説明会参加者から)
- ・ 市のマーケティング講座を受講しインスタグラムでの発信を工夫したところ、大きな反響があった。
- ・ 宇治でどのような農産物が生産されているかあまり知られていない。宇治市産の農産物であることをもっと強くアピールする必要がある



■ 取組の総括

情報発信を継続するとともに、発信内容が世代や関心の異なる層に響くよう、様々な切り口を検討することが必要。また、中宇治地域以外の認知度向上や魅力発信が必要。

- ・ 求職者に対し、市内事業者の魅力だけでなく、事業所が立地する地域の特色や魅力も伝え定住促進を図る等の発信内容の工夫
- ・ 中宇治地域以外の市内各地域の魅力発信強化による市全体の観光振興、にぎわい創出

■ 取組の方向性案

【新規】

企業と地域の魅力発信 【再掲】

大学生や市民による企業や地域の魅力を発信する情報誌の作成

求職者に企業の魅力と地域の特色を伝え、人材確保と定住促進を図る

【拡充】

市内事業者や市内産品の情報発信 【再掲】

市内製造業や伝統産業を PR するためのものづくり体験イベントやオープンファクトリー（工場や工房見学）の開催

市内事業者や市内産品等の情報、他の事業者の参考となる先進的な取り組みを情報誌やウェブサイトに掲載

拡充内容＝新たに市内事業者向けの先進事例集を作成

市内産宇治茶ブランドの向上に向けた施策の実施

市内産宇治茶の品質維持・向上に向けた支援を実施し、品評会での農林水産大臣賞や産地賞受賞による市内産宇治茶のブランド化を図るとともに、各種イベントへ参加し、市内産宇治茶の市内外への PR を強化

また、抹茶の需要が世界的に高まる中、さらに宇治茶の魅力を世界へ伝える取組を実施

拡充内容＝海外での抹茶需要に対する取組強化

商店街等の消費拡大に向けた取組 【再掲】

商店街等が実施するインターネットや SNS を活用した広報等への支援

拡充内容＝キャッシュレス化の推進から店舗等が外注していたチラシ作成等の広報活動を A I やアプリを使用し自社で内製化し消費拡大につなげる支援に転換

【継続】

観光施策の実施

観光振興計画に基づき、豊富な観光資源を生かした、ワンランク上の観光事業に取り組む。また、宇治独自のブランド力を活用した新たな観光事業に取り組むとともに、自然や景観を活かした新たな観光資源の開発に向けた検討を実施

宇治のうまいもん発信事業の実施 【再掲】

市内事業者の応援と街の活性化を図るため、飲食店の「美味しい」料理や製造等の熟練した「上手い」技術等を撮影し、動画で発信

技能功労者の表彰

技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に、永く同一の職業に従事し、優れた技能を持つ人を表彰

魅力発信事業の実施

市民、事業者、関係団体、インフルエンサー等の多様な主体と協働し、宇治市の様々な魅力を発信

各種 P R 事業の実施

山城マルシェや宇治のうまいもん発信事業等、ツールや市内外の場所を問わず、様々な場面での市内の農業や農産物の PR を実施

商店街等への補助【再掲】

商店街等が実施するイベントや商店街施設（防犯カメラ等）の設置、情報発信事業等、商店街が取り組む効果的な活性化につながる取り組みに対し補助金を交付

産業戦略に掲げた重点課題	これまでの取組の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 事業所数が減少傾向 (開業率が低く、廃業率が高い) 創業年数の若い企業が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 起業ニーズの掘り起こし、支援 起業・創業支援の拠点整備 企業誘致のあり方検討 新規就農者の定着支援



■ 取組についての意見

（産業振興会議での主な意見）

- 子ども向けものづくり体験や未来キャンパスなど、起業意欲ある人材の育成や事業継続支援の取り組みは有意義
- うじらぼではイベントや交流会が数多く開催されており、認知度が向上している。

（市内事業者等からの主な意見）

- こども未来キャンパスでは、体験を通して子どもの興味、将来の選択肢を増やす機会や、学校では学べない内容の学習機会を増加させてほしい。
- 創業するまでの事業計画書の書き方や、経営を行うにあたっての基礎的な知識をわかりやすく学べる場があると良い。
- 創業セミナーでは、創業に向けて近いフェーズの方や異業種の方々と学ぶことで、良い刺激となり、自身の事業を見つめなおす機会となった。
- 創業支援を受けたいが、夜間だと育児の時間と重なるため、土日や日中のイベントがあるとありがたい。
- 農業従事者の高齢化は深刻であり、親元就農への支援強化などさらなる新規就農支援が必要
- 新規就農者が宇治を選んで就農してもらえるよう、また宇治で定着してもらえるような支援策が必要
- 宇治ベンチャー企業育成工場を退去後も宇治企業として活動したいが、市内で条件に合う物件が見つからない。



■ 取組の総括

従来の起業・創業支援制度を活用しにくい層への対応が必要。また、市が起業を支援した事業者の市内定着率の向上が必要

- 起業支援セミナーや交流会（平日夜間に実施）への参加が難しい子育て世代に配慮した、オンラインの活用など新たな支援手法の検討
- 宇治市ベンチャー企業育成工場入居企業が退去後に利用可能な市内の土地・施設の情報整理及び関係機関と連携した市内定着支援

■ 取組の方向性案

【拡充】

こども未来キャンパスの実施

産業交流拠点「うじらぼ」にて、未来の人材育成やふるさとへの愛着の醸成に向けた小学生から大学生向けの起業スクールや実践的な体験スクールを実施

拡充内容=体験スクール実施内容を充実（生産から販売までを実際に体験など）

【継続】

起業ニーズの掘り起し

市内における起業家の掘り起しを目的とした、起業を選択してもらうための創業セミナーの開催や、起業家に情報交換の場や、起業家同士の出会いの場を提供するための交流会を他の支援機関と連携しながら開催

専門機関による市内事業者の相談支援の実施

インキュベーションマネージャーを配置し、宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業等の経営支援を実施

産業交流拠点「うじらぼ」を活用した交流機会の創出

時代のニーズに合わせた起業家の輩出やオープンイノベーションを促進するため、産業会館1階に産業交流拠点「うじらぼ」を設置。宇治NEXT（市・商工会議所）が運営し、異業種交流会等、あらゆる層が交流できる機会を創出することにより、新しい価値を生み出し、事業者の成長支援を実施

新規起業家への開業資金の補助

起業初期の経営安定化を目的に、新たに起業する人や第二創業を行う人に対して、その経費の一部を補助

京都府融資制度を活用した起業への支援

創業支援の一環として、京都府制度である「開業・経営承継支援資金」への保証料補給（一部）を実施

ベンチャー企業育成工場の運営

市内におけるベンチャー企業育成を目的とした、宇治ベンチャー企業育成工場を運営

企業誘致の検討及び誘致活動

宇治市の特徴や経済構造の変化、企業側のニーズ等を踏まえた上で、研究開発型の企業や大学発のベンチャー企業等、誘致対象を検討するとともに、市外からの誘致に向けた情報発信や企業訪問を実施

新規就農者への支援

経営が不安定な就農直後の所得確保や、農業者からの指導による技術向上等により、新規就農者の定着を支援